

溶解度パラメータ(SP値・HSP値)

1名分料金で
2人目無料

の理論および活用事例の紹介【LIVE配信】

◆日時: 2025年8月20日(水) 13:00~16:00

◆会場: 自宅や職場など世界中どこでも受講可

◆聴講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申し込みされた場合、1名につき46,200円(税込)

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 兵庫県立工業技術センター 技術企画部 技術支援室 主任研究員 阿知良 浩人氏

【受講対象・レベル】

HSPに興味のある技術者・研究者、化学物質・製品を取り扱っている製造業の技術者、GC-MSを取り扱っている技術者

【習得できる知識】

物質と溶媒の相溶性を相対的に理解することができる

例1: 各種配合剤を製作する時の適度な割合の最適化

例2: 各種溶媒に対する対象物質・材料の取り扱いの

説明に役立つ(クリーム対応)

【趣旨】

溶解度パラメータ(Solubility Parameter, 以下SP値と称す)は対象物質と溶媒の相性を相対的に評価するのに役立つ手法です。この分野に関しては様々な研究者が改良を重ねて様々な式を導出しており、現在はHansen溶解度パラメータ(Hansen Solubility Parameter, 以下HSPと称す)が主流となっています。

本セミナーでは、SP値の成り立ち・問題点・HSPの特徴について原理から説明し、HSPの計算方法や兵庫県立工業技術センターでの活用事例を紹介させていただきます。

【プログラム】※内容を省略して掲載しております。詳細はHPでご確認ください。

1. 兵庫県立工業技術センターの紹介
2. 溶解度パラメータの基礎
 - 2-1. 溶解・溶解度とは?
 - 2-2. 溶解度に基づく溶液の種類
 - 2-3. 溶解度の因子の種類
 - 2-4. 溶解度パラメータの成り立ち
 - (1) 成り立ち
 - (2) 問題点
 - (3) 計算方法
 - 2-5. Hansen溶解度パラメータ
 - (1) 仮説
 - (2) 概要
 - (3) 各種パラメータの特徴
3. HSPの計算方法
4. 兵庫県立工業技術センターでの活用事例

【質疑応答】

【LIVE配信セミナーとは?】

・本セミナーは「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Webブラウザから参加するかの2種類がございます。ZOOM WEBセミナーのはじめかた(<http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。

・お申込み後、受理のご連絡メールをさせていただきます。一部メールが通常セミナー形式(受講券、請求書、会場の地図)になっておりますが、LIVE配信のみのセミナーです。

・お申込み後、接続テスト用のURL(<https://zoom.us/test>)から「ミーティングテストに参加」を押していただき動作確認をお願いします。

・後日、別途視聴用のURLをメールにてご連絡申し上げます。セミナー開催日時の10分前に、視聴サイトにログインしていただき、ご視聴ください。

・セミナー資料は前日までには、お送りいたします。タブレットやスマートフォンでも視聴できます。

『溶解度パラメータ【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

 Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>